

事業番号	09 04 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	果樹振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課	
		実施期間	H19 ～	E-mail	enchiku @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

・本県の果樹は、恵まれた気候や立地条件、高い技術を活かし、りんご「シナリップ」やぶどう「クイーンルージュ®」などポテンシャルの高い県オリジナル品種を中心とした生産が進んでいる。

・高齢化や担い手の減少から、5年間で樹園地面積は5%、販売目的の果樹経営体数は約2割減少しており、生産基盤が脆弱化し、産地力の低下が懸念される。

2 事業目的

県オリジナル品種の品質向上や産地基盤の強化を図り、「日本一のくだもの王国づくり」をめざす。

3 事業目的を達成するための取組

①果実生産量の増加

・県オリジナル品種の単収増や栽培技術の高位平準化等を図るため、技術者を対象とした現地研修会を開催

・ももの生産力を強化する新・改植優良事例集の作成

・ワイン用ぶどうの地域特性や品種等を考慮した地域別研修会を開催



【りんご高密度栽培】

②早期成園化・高単収等が可能なりんご高密度栽培の普及推進

・施肥管理や凍害対策等の栽培技術の高位平準化を図るため、技術者を対象とした現地研修会を開催

・目的・目標に応じたりんご高密度栽培の優良経営調査を実施

・高密度栽培で活用できる省力機器の検討を実施



【ぶどう「クイーンルージュ®」】

③ぶどう「クイーンルージュ®」栽培面積の拡大

・単収増や栽培技術の高位平準化等を図る、技術者向け現地研修会を開催

・生産者意欲及び技術向上を図るプレコンクールの実施

・更なる需要拡大や認知度向上を図るための情報発信やPRを実施

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①	りんご・ぶどうの生産量	t	138,300	138,500	↗	137,700	↘	157,235	未達成 第4期長野県食と農業農村振興計画に掲げるりんごとぶどうの生産量161,114tを達成するため、令和7年度は157,235tを目標とする。
②	りんご高密度栽培面積	ha	621	635	↗	660	↗	650	達成 第4期長野県食と農業農村振興計画における達成目標（令和3年度：590ha→令和9年度：680ha）に基づき、計画3年目である令和7年は650haを目標値とする。
③	ぶどう「クイーンルージュ®」栽培面積	ha	181	200	↗	211	↗	216	未達成 長野県果樹振興計画における目標（令和12年：250ha）に基づき、令和7年は216haを目標値とする。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	☆農業農村総生産額	億円	2023 (R5)	3,911	2024 (R6)	4,278	2025 (R7)	4,684 (県推計値)	2027 (R9)	3,700
2-1②	稼ぐ力とブランド力の向上	果実産出額	億円	2023 (R5)	1,000	2024 (R6)	1,036	2025 (R7)	998 (県推計値)	2027 (R9)	945

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					1036	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	0	4,777	0	4,777	2,005	1,855	2.5
R6年度	0	4,860	0	4,860	1,989	3,345	2.5
R5年度	0	4,021	0	4,021	2,220	2,382	2.5

事業番号	09 04 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	果樹振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課	

7 主な取組実績と成果

①果実生産量の増加

- ・技術者を対象にした現地研修会を実施し、県オリジナル品種の品質向上を図った。
-果樹栽培技術研修会の開催（11回）
- ・新たなもも生産者の確保や老木園の改植を推進するため、新・改植優良事例集の作成に向けた情報収集を行うとともに、事例について発信するため、ももフォーラムを開催した。（1回、152名）
- ・就農間もない生産者の栽培技術向上に向け、地域特性や品種等を考慮した栽培研修会を実施した。（4回）



長野県ももフォーラム

②早期成園化・高単収等が可能なりんご高密度植栽培の普及推進

- ・高密度植栽培における災害対策や栽培技術研修会を実施し、技術者の指導力向上を行い、栽培面積の増加につながった。なお、優良経営調査については、優良経営体のほ場を活用した検討会という形に変えて情報の共有を図った。
-りんご高密度植栽培基礎研修会（2回、108名）
-気象災害に強い果樹産地づくり研修会（1回、68名）
-りんご高密度植優良事例検討会（1回、43名）
-スマート農業先端機械操作研修（1回、35名）



気象災害に強い果樹産地づくり研修会

③ぶどう「クイーンルージュ®」栽培面積の拡大

- ・新梢管理や房づくり等の栽培技術研修会を開催し、品質・単収の高位平準化を推進した。（2回、113名）
- ・生産者意欲の向上を図るため、「クイーンルージュ」のプレコンクルの実施を検討していたが、関係者から時期尚早の意見があり、再度検討して実施を行うこととし、「シャインマスカット」のコンクールを実施した。
- ・「クイーンルージュ®」の認知度向上を図り生産拡大につなげるため、JA全農長野と連携し、大阪中央卸売市場でトップセールスを実施した。
- ・県内外の方の行き来が多い長野駅ビルにおいて、JA全農長野と連携し、「ナガノパープル」、「シャインマスカット」とともに試食販売会を実施し、県産ぶどうの品質をPRした。



トップセールス

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標		R6年度推移		R7年度推移		達成状況	
①	りんご・ぶどうの生産量		↗		↘	達成状況	未達成
栽培研修会を通じて技術力を向上させ生産量の増加を図ったが、りんご、ぶどうの産地である北信地域において5月下旬に降雹があったため、生育の停滞や傷害果の発生により収穫量が減少したことで、目標生産量に届かなかった。							
②	りんご高密度植栽培面積		↗		↗	達成状況	達成
果樹経営支援対策事業による改植の実施や気象災害に強い果樹産地づくり研修会等の開催により、高密度植・新しい化栽培の導入が進み、目標値を達成した。							
③	ぶどう「クイーンルージュ®」栽培面積		↗		↗	達成状況	未達成
JAなどの技術者向けの栽培研修会や市場や消費者に向けた宣伝を行い、生産者の栽培意欲の向上を図ったところ、栽培面積は前年の106%に増加したが、目標値を下回った。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・これまでの取組により、生産者意欲が高まり、りんご高密度植栽培面積やぶどう「クイーンルージュ®」の栽培面積が増加してきたが、近年の気候変動の影響を受け、着色不良や裂果など栽培上の課題も浮き彫りとなってきている。生産量の拡大を図っていく上では、これらの課題解決が必須である。
- ・また、長期的な課題として、高齢化や担い手の減少により、樹園地面積や販売目的の果樹経営体数は減少していることから、生産面積の減少が進む品目の樹園地継承による生産基盤の維持・強化を図る必要がある。

(2) 事業改善の方策

- ・温暖化等の気候変動に適応した栽培技術や品種の導入、品目の転換により安定生産を進めるとともに、樹園地の継承取組による生産基盤の強化を図ることで、生産量を増加させ、産地力の向上を目指す。
- ・りんご高密度植栽培などの気象災害に強い果樹産地づくり研修会の実施
- ・温暖化に起因する高温障害を軽減するための多目的ネットやかん水設備の導入支援
- ・生産者の所得向上が見込めるもも栽培のスタートガイドの作成やフォーラムの開催
- ・樹園地継承にかかるマッチングや一時管理などの取組支援

事業番号	09 04 02	細事業一覧（令和7年度実施事業分）	☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検		
事業名	果樹振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	信州果樹生産体制強化推進事業		1,113 千円	2,229 千円	1,427 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	りんご高密度植栽培推進強化対策	直接	地域の技術者に対し、高温対策や栽培技術の研修会を実施し、高密度植栽培の高位平準化を推進 栽培技術研修会 3回		
2	ももの生産力・供給力強化対策	直接	新たなももの栽培者の確保や老木園の改植による生産性の向上を図るため、ももフォーラムを開催 ももフォーラムの開催（1回、計152名が参加）		
3	ワイン用ぶどう産地育成強化対策	直接	就農まもない生産者の栽培技術向上に向け、地域特性や品種等を考慮した栽培研修会を開催 地域別栽培研修会 4回		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	ワンツークイーン生産拡大推進事業		1,033 千円	830 千円	428 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	「クイーンルージュ®」栽培技術普及・定着対策	直接	地域の技術者に対し、新梢管理や房づくり等の栽培技術の普及を図り、高位平準化を推進 栽培技術研修会（2回、113名が参加）		
2	ぶどう生産者意欲向上対策	直接	生産者の栽培意欲向上を図るため、県外市場でのトップセールスや県内販売店での試食宣伝会を実施 県内外でのPR・宣伝（2回）		
3	ぶどう品質向上対策	直接	安定した品質の果実の出荷を推進するため、生産者に対して品質基準の周知を実施 「クイーンルージュ®」品質基準のチラシ配布（4,798名）		